

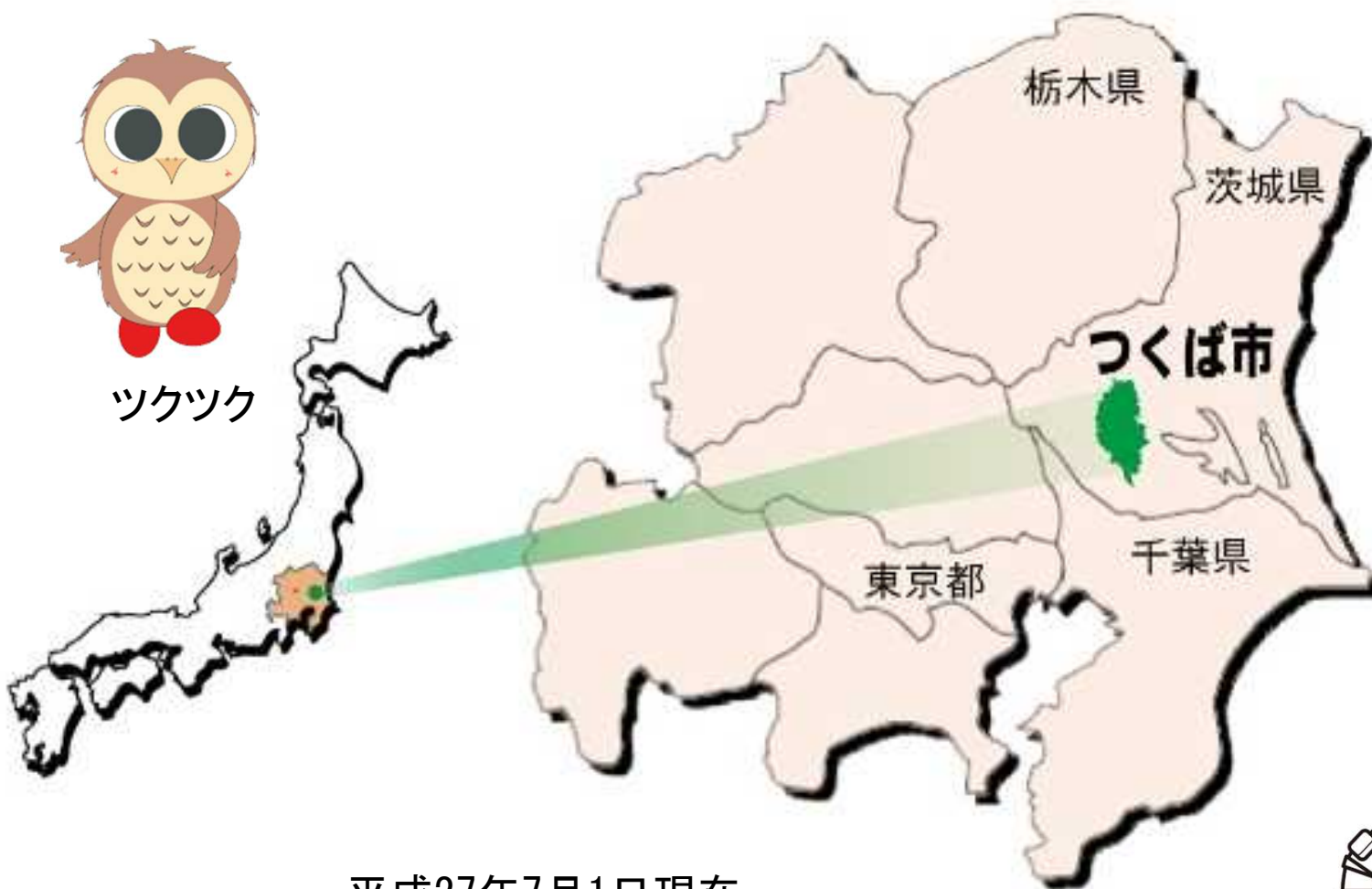
平成27年10月2日 文部科学省 学校評価フォーラム

# 学校評価の充実・強化に向けて

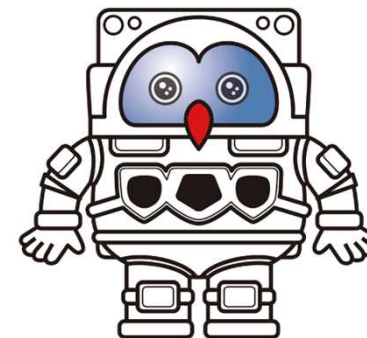


つくば市教育委員会

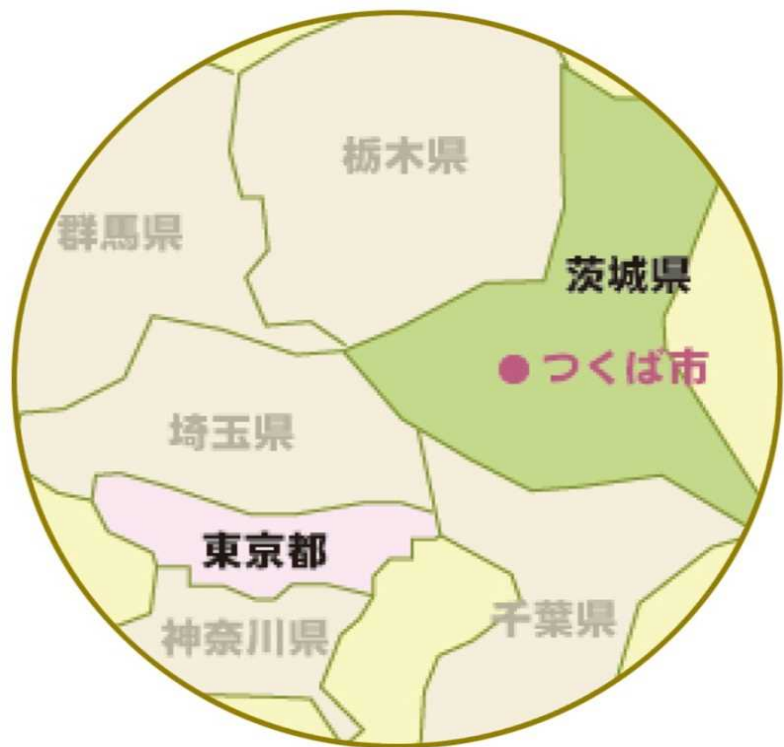
# つくば市について



平成27年7月1日現在  
人口：222,773人



フックン船長



高エネルギー  
加速器研究機構



つくばエキスポセンター



筑波大学



東京・秋葉原から  
つくばエクスプレスで45分



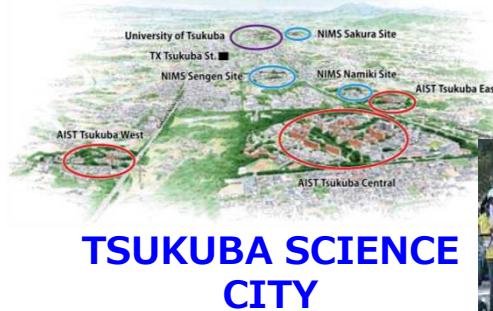
国土地理院



JAXA筑波宇宙センター

# つくばの教育

科学と自然のまちつくばで世界で活躍できる人材を育む



多彩な科学の集積



世界中からの留学生



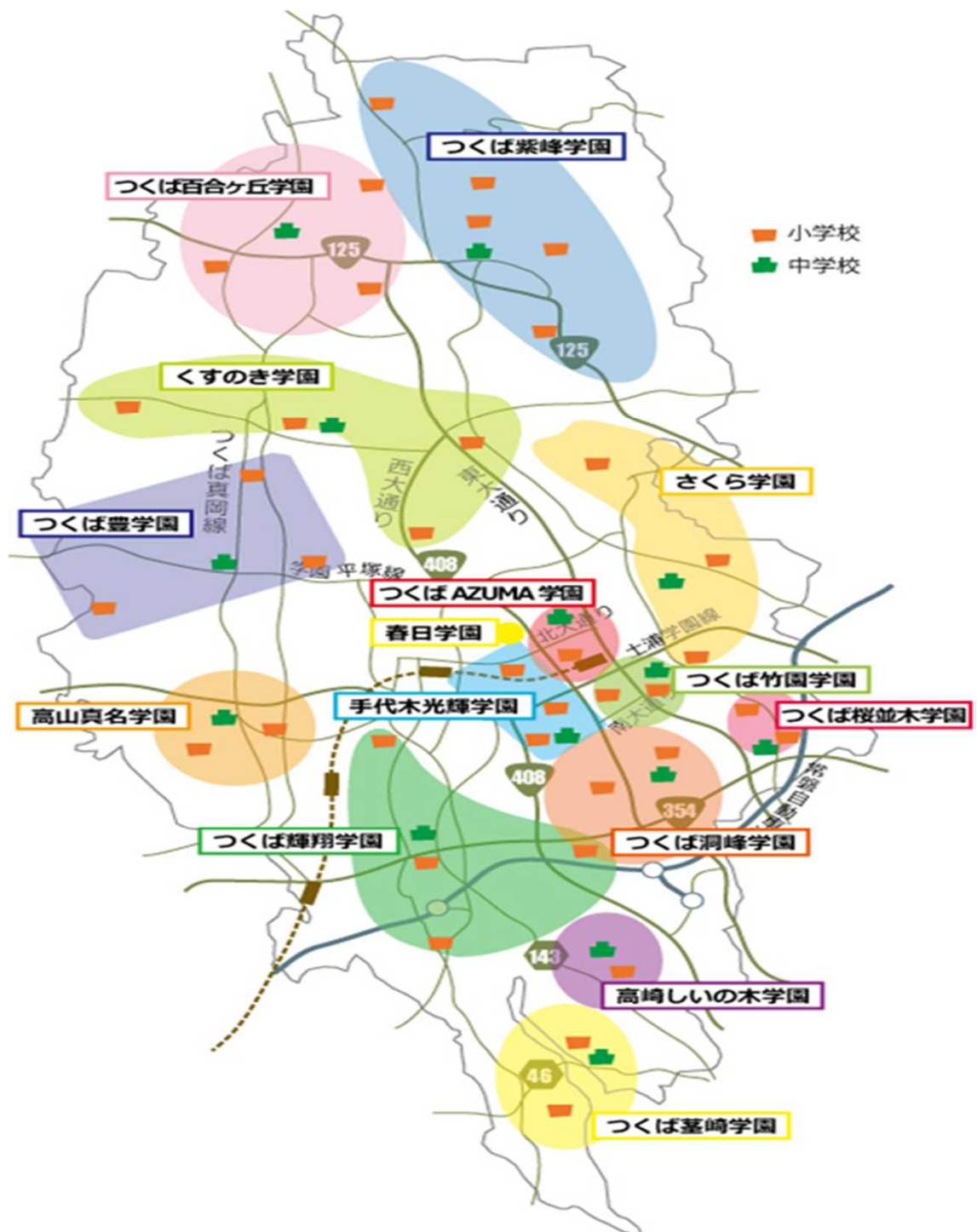
自然豊かな環境

小中一貫教育における9年間の連続した学び  
発信型プロジェクト学習

つくば次世代型スキルの育成

知と心の調和とグローバルな視点とを兼ね備えた  
つくば市民の育成

次代を牽引し、イノベーションを創造する人材育成



# これまで(3年間)の成果 小中一貫教育による意識変化

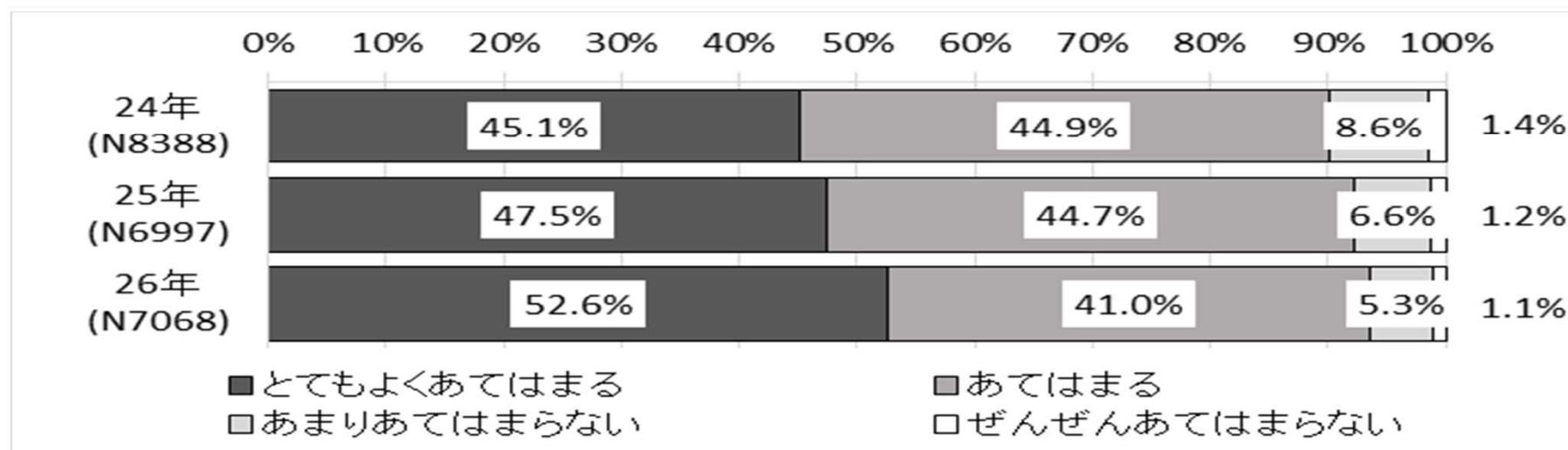


5～7年 縦割り活動

# 『児童・生徒の変容』(育ちの面から)

【人や社会との関わりについて】

相手の気持ちをよく考えてつきあおうとする…93.6%





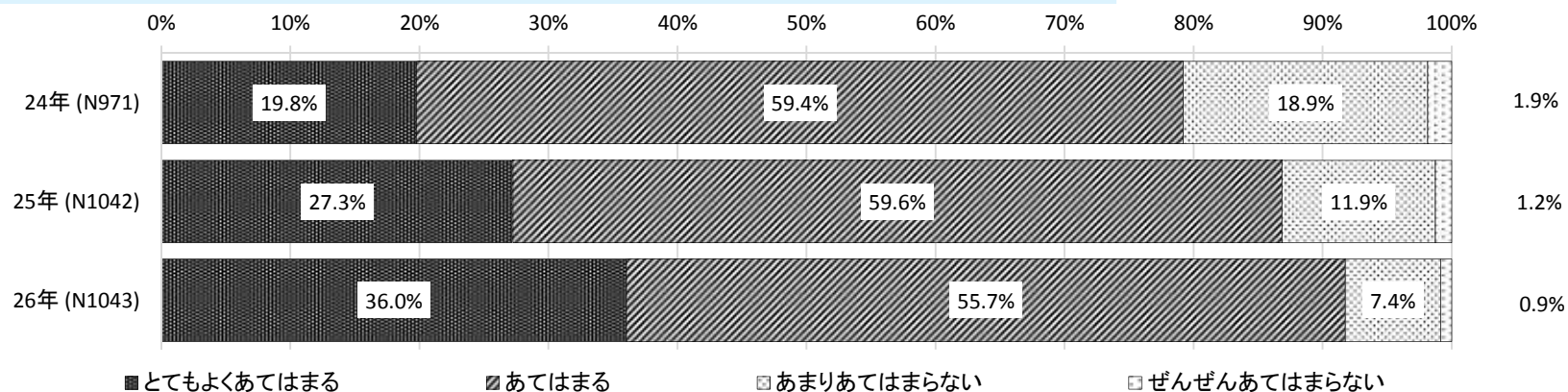
小中交流學習  
小小交流學習



# 『教師の意識の変容』 (発達段階)



交流授業や乗り入れ授業，教科担任制等を通して，児童生徒の発達の段階や指導の系統性を理解することができた。



**肯定的回答 : 91.7%**

平成27年2月調べ (回答数7,068票 小 : 5,619票, 中 : 1,449票)

## 小中学校教員による小学校での合同授業



中学校教員による音楽



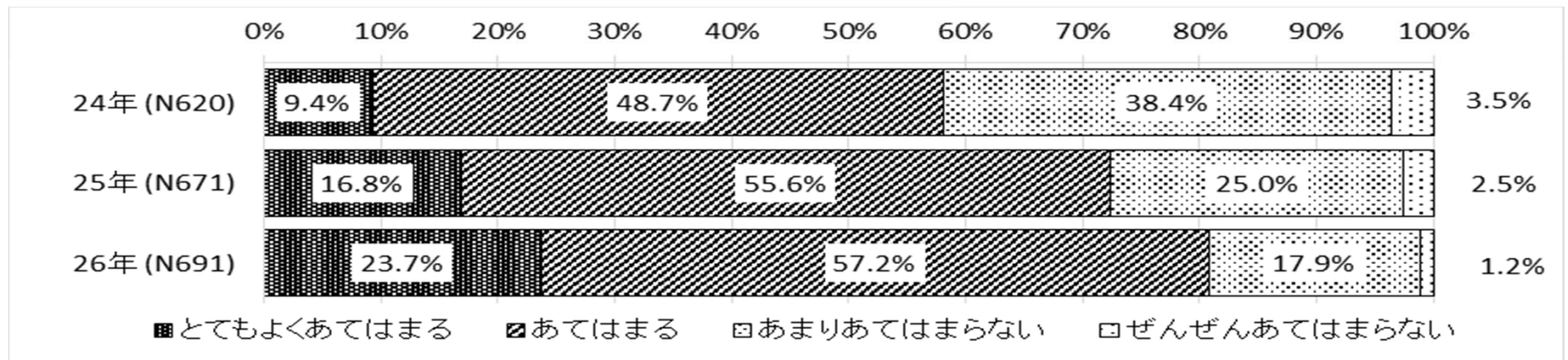
中学校教員による算数

# 『教職員の意識の変容』

## 【小中一貫教育について】

小中一貫教育によって、  
これまでよりも充実感がある

…81.9%



平成26年度

「自立的・組織的な学校運営体制の構築に向けた調査研究」

# 学校評価の充実・強化に向けた 実践研究

～学園で連携・協働した学校関係者評価  
の体制整備の在り方～

# 導入の目的

---

- 本市の教育は着実な成果を上げていると思われるが、学校評価の取組において課題（方法や学校間の差など）が見られた。
- 小中一貫教育の取組を活用し、複数の小・中学校が連携・協働した学校関係者評価の体制整備を行い、よりよい学校づくりを目指す。

# 研究の方法

---

## (1) 実践研究校における取組

- ①市内15学園のうち3学園{2小1中, 3小1中, 4小1中}を実践研究校に指定する。
- ②小中一貫教育の視点から, 複数の小・中学校が連携・協働した学校関係者評価の体制整備の工夫を行う。

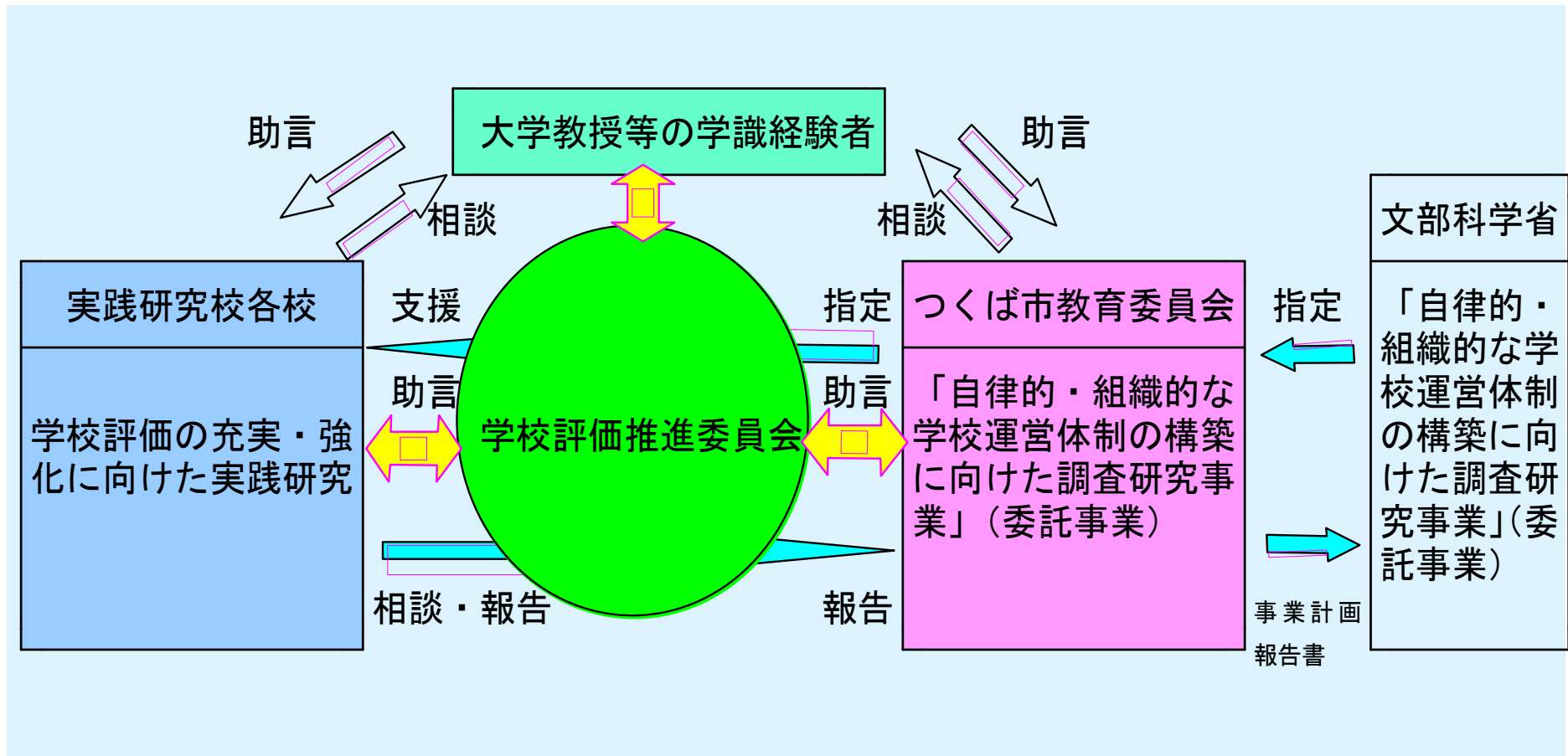
# 研究の方法

---

## (2) 学校評価推進委員会の設置

- ①つくば市における学校評価の在り方を考え、実践研究校への助言や支援を行う。
- ②その成果を市内全小中学校へ普及する。

# 実施体制について





# 実施計画

8月 学校評価推進委員会の発足，実践研究校への説明  
（研究内容・方法等）各学校から実施計画等を提出  
各学校において取組を実施

8月～2月

学校評価推進委員会，実践研究校連絡協議会等  
の実施（各4回の実施）

2月 研究のまとめ，成果の提出等

3月 実践研究報告書配付（小学校37校，中学校15校，  
幼稚園17園）

# 学校評価推進委員会の取組

- 実践研究校への助言や支援を行う。  
委員は、大学教授3名・教育委員等の有識者3名・PTA代表3名・校長12名
- 実践研究の進捗状況の確認
- 学校評価の中間結果報告についての助言
- 学校評価結果報告書の在り方についての検討

# 研究の成果

- つくば市学校評価推進委員会を設置し、協議を進めたことにより、学校評価の課題や今後の努力事項が明確になった。(市として)
- 各学校の企画会を中心として、全員研修会、授業研究会等が行われ、学校評価に関わる組織の確立が図られた。(学校として)
- 学園内の学校が連携を深め、評価体制が構築できたことにより、学校関係者評価が充実し、学園内相互評価の体制が確立した。(学園として)

# 今年度の取組内容

# 小中一貫教育の ステップ表 2015 への明記

小中一貫教育完成までのステップ表 2015

	学校・学園 経営方針 目指す子供像	学校運営面	学習指導 ■9年間を見通したカリキュラム ○合同授業づくり ★評価
ステップ0 一貫教育前	■各校がそれぞれに設定	■各校がそれぞれの取り組み	■各校がそれぞれの取り組み
ステップ1 一貫準備期	■学校長間で情報交換、 経営方針・子供像等の 部分共有化 ※共有できる部分から一 貫を始める	■学校長間の情報交換を受け て、教頭会、教務主任会を中 心として一貫校間の連絡調整	■9年間を見通した各教科等の領域・単元別 学習内容系統表の作成 ○小学校5・6年生の一部教科担任制の実施 ○相互授業参観(1～2教科程度) ○授業の約束(授業展開、学習のきまり、板 書等)の共有化 ○小中教員によるTT授業(年に1回、1教科 程度) ○9年間を見通した家庭学習の在り方の検討
ステップ2 一貫開始期 (平成24年度)	■9年間を見通した学校 経営方針を学校長間で 協議して示す ※各校で進めてきた「特色 ある学校づくり」によって 形成された「学校文化」 は継承	■学園の教務主任間での行事 予定表・日課表等の工夫 ■学園内小学校間の共通実務 項目の設定	■9年間を見通した学習指導要領の理解 ○相互授業参観(複数教科) ○小中教員によるTT授業(年に数回、1教科 程度) ○合同授業研究会(1～2教科程度) ○学園共通の家庭学習の手引きの作成 ・段階的学習の手引きの作成および実務
ステップ3 一貫推進期 (平成25年度)	■学園教育目標の設定 ■学園グランドデザイン完 成	■学園教育目標を踏まえた柔 軟な教育課程の編成・実施 ■共通の「指導目標・指導内容・ 指導方法」の構築 ■学園内組織及び分掌の整備	■学習指導要領解説の理解と学園の児童 生徒の実態を踏まえた学習系統表等の作 成および実務(重点教科・領域) ○学びの連続性を意識した教科書教材の研 究と、教科指導法および評価の研修 ○学園の児童生徒の実態を踏まえ、9年間の 学習内容の系統を意識した学習を展開 ○小中教員によるTT授業(2～3教科程度) ○合同授業研究会
ステップ4 一貫強化期 (平成26年度)	■9年間を見通した学園 経営方針の修正と改善 ・発達課題に応じた目標 ・校内研修の方針 ・生徒指導の方針 ・PTA運営方針 ・その他	■小中一体化した学園組織機 能の改善 ■発達区分に応じた教育評価 の実施 ■学園内小学校間の共通実務 項目の評価 ■学校評価(自己評価) ※一部の兼務宛令(春日学園)	■学園の児童生徒の実態を踏まえ、9年間の 連続した学びを意識した学習系統表等の 完成 ○小中教員による、発達段階に応じた定期 的なTT授業(複数教科) ○学園研修による教科指導法の研究と改善 ・学園内授業改善メソッド等の改善と充実 ★小中一貫教育における授業評価の研究
ステップ5 一貫完成期	■小中一貫による学園経 営 ・学園教育目標 ・学園の子供像 ・学園グランドデザイン ・学園経営方針 ・学園重点施策	■小中学校が一体となった学園 組織の完成 ■各部会の運営の充実 ■発達段階に対応した教育課 程の編成・実施 ■学園評価(相互評価)の実施 ※兼務宛令(拡大)	■教師と児童生徒による授業の振り返り(成 果と課題の分析)と学習系統表等の改善 ■「つくば次世代型スキル」の育成を意識し たアクティブ・ラーニングによる授業の実践 ○探究型および課題解決型学習の推進と PDCAサイクルによる授業力の向上 ○定期的な合同授業研究会(複数教科) ○年間計画に基づく小中教員による効果的 な授業(複数教科・複数年で) ○教科指導法改善の実践強化 ・授業改善メソッド等の恒常的な活用 ★小中一貫教育における授業評価の実践

# 小中一貫教育指導訪問

## 第1回小中一貫教育指導訪問

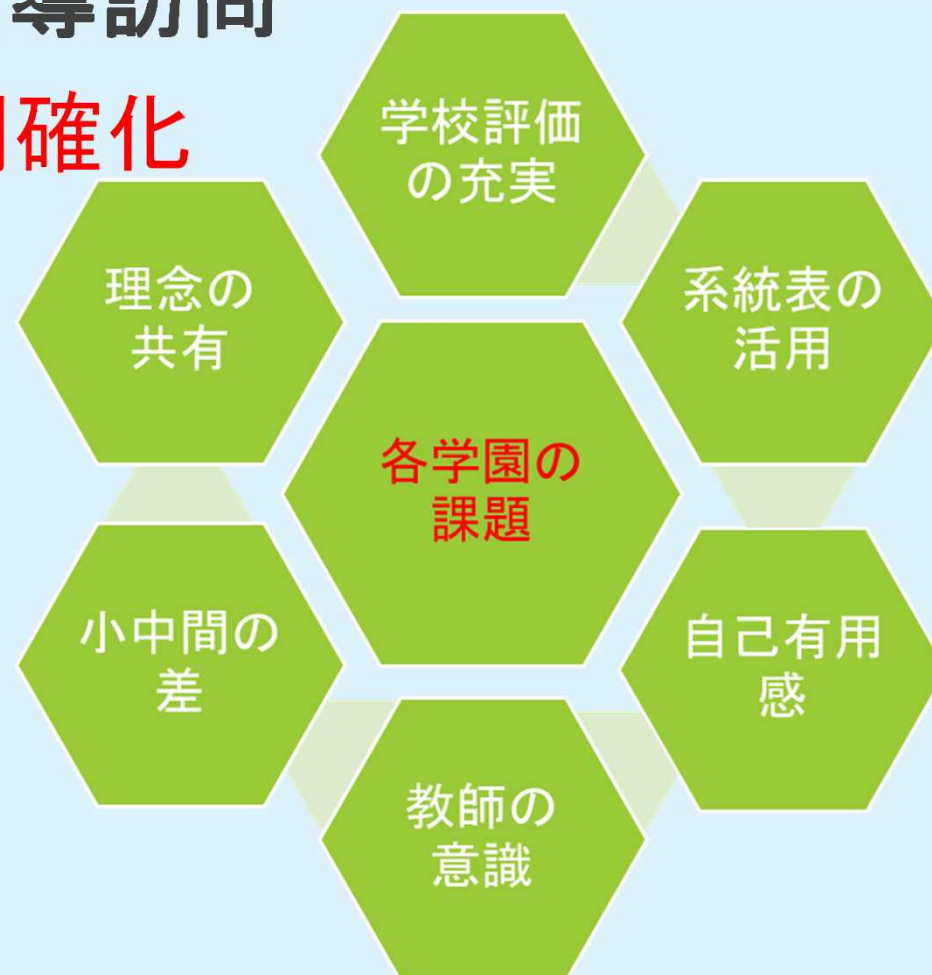
↓各学園の課題の明確化

本年度の取組

↓ P-D-C-Aサイクル

第2回小中一貫教育  
指導訪問

検証し改善へ



# 教育評価懇談会の実施

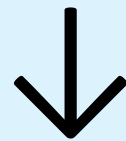
---

- ①教育長を座長とする有識者(教育委員・大学教授・保護者代表・校長代表・教頭代表・教務主任代表)からなる10人の委員と, 市教育局で構成。
- ②本市の小中一貫教育の取組や今後の課題, 方向性等について協議する。  
(今年度は学校評価が中心)
- ③P-D-C-Aサイクルを活かすために年間2回の実施

# 今後の取組予定

- 平成27年度

研修会等を通じて、学校評価への理解を深めるとともに実践研究校の成果を普及する。



第三者評価の在り方の理解  
実施率100%を目指す



# 今後の取組予定

- 平成28年度

施設一体型の義務教育学校における学校評価の在り方を研究する。

- 平成29年度

コミュニティスクールにおける学校評価について

# おわりに

つくば市学校ICT教育40周年記念

## 『21世紀の学びを変える 先進的ICTを活用した 小中一貫教育研究大会』

平成27年11月10日, 11日

つくばの教育の発信として



eスクール ステップアップ・キャンプ認定研修会  
つくば市学校ICT教育40周年記念

### 21世紀の学びを変える ICTを活用した 小中一貫教育研究大会

平成27年11月10日(火)・11日(水)

主 催：つくば市・つくば市教育委員会  
つくば市ICT教育研究大会実行委員会  
後 援：文部科学省・茨城県教育委員会・小中一貫教育全国連絡協議会  
(含申請中) 茨城県市町村教育長協議会・一般財団法人日本初級教育協会・  
日本初級教育教員連合会

11月10日(火) 13:00～

**授業公開**  
アクティブ・ラーニング, 21世紀型スキル, タブレット, デジタル教科書, デジタル思考ツール, 学校・家庭をつなぐオンライン学習等を活用した小中一貫教育  
【施設一貫型小中一貫教育校春日学園】 全年で先進的ICTを活用した授業公開を予定  
○春日小・中学校  
【つくば竹園学園】  
○竹園東小学校 ○竹園西小学校 ○竹園東中学校

ICT教育全国首長サミット(つくば国際会議場)  
\*教育にICT活用を推進している自治体の首長様, 参加を募集しております。

11月11日(水) 9:30～

全体会 文部科学省基盤構築(予定)  
分科会(予定)  
「これからの小中一貫教育におけるICTの活用」  
筑波大学教授 樋口直宏氏  
「2020年のICT教育」  
東京工業大学名誉教授 日本教育情報化振興会会長  
ICT CONNECT21 会長 赤堀信司氏  
「学習者用デジタル教科書ワークショップ」  
信州大学教授 東原義典氏  
「21世紀を拓くアクティブ・ラーニング」  
放送大学教授 中川一史氏

つくば市では、学校ICT教育を推進し40周年を迎えます。そこで、ICTを活用した小中一貫教育の授業公開や実践発表を行い、今後のICT教育及び小中一貫教育の在り方を提案、協議する場を設けました。

つきましては、ぜひつくば市へ足をお運びいただき、有意義な情報交換の場としていただきますよう、お願い申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

問い合わせ先  
つくば教育局総合教育研究所 TEL029-867-1080  
URL <http://www.tsukuba.ed.jp/~40anniversary>  
Mail [ict40@tkb.ed.jp](mailto:ict40@tkb.ed.jp)  
\*お申し込みの受付は、6月上旬からを予定しております。